令和8年度

石井中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇「わかった」「できた」楽しさの体得

〇新しい風を取り入れ、教師自らが学ぶ意欲を

校長

田中　貴之

学力向上推進員

森　愛実

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や生徒・教員へのアンケート等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇基礎的・基本的内容を理解しようと努力する生徒が多い ●テストなどの結果から、知識・技能の十分な習得に至っていない生徒が多い	・「分かる」と実感することができる ・テストなどの結果から、「できる」と自信をもつことができる	・小テストや実技テストを学期にそれぞれ1回以上行う　80% ・授業内で演習問題に取り組ませ、その解説を、月に1回以上行う　80%			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇話し合い活動の良さを認識している生徒、考え方や解き方、根拠を問う問題に意欲的に取り組もうとする生徒が多い ●自分の考えや意見を表現するものの、課題の趣旨に沿った表現ができない生徒が多い	・課題の趣旨に沿った説明や意見を記述することができる ・課題の趣旨に沿った考えを話すことができる	・説明や意見を記述する活動を学期に1回以上設定する　80% ・話し合い活動を学期に1回以上設定する　80% ・授業力向上研修（レッスンウィーク）を設け、他の教員の授業を参観する　100%			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇授業に興味をもって取り組もうとする生徒が多い ●生徒1人1台端末の十分な利用に至っていない	・学習の見通しをたて、目的意識をもって授業に取り組むことができる ・タブレットを活用し、さらに学習への興味をもつことができる	・授業の導入で「学習課題（めあて）」を提示し、授業の終末で「振り返り」を行う　80% ・徳島ICT活用モデルの指標A以上　80%			